

Press Release

報道関係者 各位

令和6年3月 15 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 小澤 諒 (内線 2578)

国家試験係長 根津 正人(内線 2282)

(代表電話) 03(5253)1111

第 117 回歯科医師国家試験の合格発表について

令和6年1月 27 日(土)及び 28 日(日)に東京都他7カ所において実施した第 117 回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新 卒 者	2,358 人	1,962 人	1,600 人	81.5%
全 体	3,568 人	3,117 人	2,060 人	66.1%

第 117 回歯科医師国家試験の合格基準

第 117 回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を 1 問 1 点、臨床実地問題を 1 問 3 点とし、

- ① 領域 A（総 論） 6 0 点以上／ 9 4 点
- ② 領域 B（各 論） 2 5 4 点以上／ 3 7 9 点
- ③ 必 修 問 題 6 4 点以上／ 8 0 点

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、
必修問題の得点について総点数の 8 0 % 以上とする。

とする。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 37 問

37 コンポジットレジン研磨面の走査電子顕微鏡像(別冊No. 12)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a ナノフィラー
- b 従来型フィラー
- c マイクロフィラー
- d 有機複合フィラー
- e サブミクロンフィラー

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 39 問

39 全部床義歯の筋圧形成の際に行う機能運動のうち、上顎と下顎、いずれの印象採得時にも有効な機能運動はどれか。3つ選べ。

- a 嚥下運動
- b 開口運動
- c 口角牽引
- d 口唇突出
- e 側方運動

(採点上の取り扱い)

4通りの解答を正解として採点する。

(理 由)

4つの選択肢が正解であるため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 66 問

66 Toll 様受容体〈TLR〉と病原体関連分子パターンの組合せで正しいのはどれか。

2 つ選べ。

- a TLR1 ——— リボタイコ酸
- b TLR2 ——— ペプチドグリカン
- c TLR3 ——— フラジェリン
- d TLR4 ——— リボ多糖
- e TLR5 ——— 二本鎖 RNA

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

選択肢が不適切であるため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 86 問

86 緩和医療で行われるのはどれか。すべて選べ。

- a 治療目標の設定
- b 疼痛からの解放
- c 積極的な延命処置
- d 患者の意思決定の尊重
- e 多職種連携による生活支援

(採点上の取り扱い)

2通りの解答を正解として採点する。

(理 由)

設問が不明確で複数の選択肢の組合せが正解と考えられるため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B 第 19 問

19 成人よりも小児で値が低いのはどれか。1つ選べ。

- a 血 圧
- b 体 温
- c 呼吸数
- d 心拍数
- e 基礎代謝量

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

(理 由)

複数の正解があるため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B 第 44 問

44 AuCu 規則格子生成によって時効硬化を起こすのはどれか。2つ選べ。

- a 白金加金
- b 14K 金合金
- c タイプ2 金合金
- d 陶材焼付用金合金
- e 金銀パラジウム合金

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B 第 64 問

64 口唇形成術を予定した生後3か月の男児の顔貌写真(別冊No. 22)を別に示す。

切開線の設計の際に基準点になるのはどれか。3つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 19 問

19 成人において放射線の確定的影響〈組織反応〉が生じる最低線量はどれか。

1 つ選べ。

- a 0.0005 Gy
- b 0.005 Gy
- c 0.05 Gy
- d 0.5 Gy
- e 5 Gy

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 20 問

20 生後、ミュータンスレンサ球菌が定着しやすい時期はどれか。1つ選べ。

- a 0～6か月
- b 8～16か月
- c 19～31か月
- d 34～44か月
- e 48～54か月

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 29 問

29 腫瘍類似疾患はどれか。1つ選べ。

- a 神経鞘腫
- b 動静脈奇形
- c 粘液線維腫
- d セメント芽細胞腫
- e Langerhans 細胞組織球症

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D 第 54 問

54 ラウンドステンレススチールワイヤーの直径を 2 倍にしたときの剛性の変化は
どれか。1 つ選べ。

- a 4 倍
- b 8 倍
- c 12 倍
- d 16 倍
- e 32 倍

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問が不明確で正解が得られないため。

第117回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D 第 79 問

79 疾患と治療薬の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 顎骨壊死 ————— ストレプトマイシン硫酸塩
- b 帯状疱疹 ————— ガンシクロビル
- c 顎放線菌症 ————— アモキシシリン水和物
- d 口腔扁平苔癬 ————— ミコナゾール硝酸塩
- e 口腔カンジダ症 ————— デキサメタゾン

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

選択肢が不適切であるため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第108回	平成27年1月31日～2月1日	3,138 (1,995)	2,003 (1,457)	63.8 (73.0)
第109回	平成28年1月30～31日	3,103 (1,969)	1,973 (1,436)	63.6 (72.9)
第110回	平成29年2月4～5日	3,049 (1,855)	1,983 (1,426)	65.0 (76.9)
第111回	平成30年2月3～4日	3,159 (1,932)	2,039 (1,505)	64.5 (77.9)
第112回	平成31年2月2～3日	3,232 (2,000)	2,059 (1,587)	63.7 (79.4)
第113回	令和2年2月1～2日	3,211 (1,995)	2,107 (1,583)	65.6 (79.3)
第114回	令和3年1月30～31日	3,284 (2,103)	2,123 (1,687)	64.6 (80.2)
第115回	令和4年1月29～30日	3,198 (1,999)	1,969 (1,542)	61.6 (77.1)
第116回	令和5年1月28～29日	3,157 (1,919)	2,006 (1,483)	63.5 (77.3)
第117回	令和6年1月27～28日	3,117 (1,962)	2,060 (1,600)	66.1 (81.5)

※()内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回 数		総 数	男 性	女 性	男女別合格率 (%)	
					男 性	女 性
第113回 (令和2年)	受験者数 (人)	3,211	1,949 (60.7)	1,262 (39.3)	62.3	70.7
	合格者数 (人) 男女比 (%)	2,107	1,215 (57.7)	892 (42.3)		
第114回 (令和3年)	受験者数 (人)	3,284	1,928 (58.7)	1,356 (41.3)	61.1	69.7
	合格者数 (人) 男女比 (%)	2,123	1,178 (55.5)	945 (44.5)		
第115回 (令和4年)	受験者数 (人)	3,198	1,856 (58.0)	1,342 (42.0)	57.4	67.4
	合格者数 (人) 男女比 (%)	1,969	1,065 (54.1)	904 (45.9)		
第116回 (令和5年)	受験者数 (人)	3,157	1,829 (57.9)	1,328 (42.1)	59.2	69.5
	合格者数 (人) 男女比 (%)	2,006	1,083 (54.0)	923 (46.0)		
第117回 (令和6年)	受験者数 (人)	3,117	1,837 (58.9)	1,280 (41.1)	62.0	72.0
	合格者数 (人) 男女比 (%)	2,060	1,139 (55.3)	921 (44.7)		

第117回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数 (人)	構成比 (%)		合格者数 (人)	合格率 (%)
新卒	令和5年4月～令和6年3月	1,962	62.9		1,600	81.5
既卒	令和4年4月～令和5年3月	496	15.9		290	58.5
	令和3年4月～令和4年3月	184	5.9		76	41.3
	令和2年4月～令和3年3月	121	3.9		40	33.1
	平成31年4月～令和2年3月	80	2.6		19	23.8
	平成30年4月～平成31年3月	52	1.7		12	23.1
	平成29年4月～平成30年3月	53	1.7		7	13.2
	平成28年4月～平成29年3月	47	1.5		8	17.0
	平成27年4月～平成28年3月	38	1.2		4	10.5
	平成27年3月以前	84	2.7		4	4.8
	計	1,155	37.1		460	39.8
	総計	3,117	100		2,060	66.1